

令和6年度 研究主任等研修会について

4月4日（木）に標記研修会を実施しました。今年度はまず、中部地区内の2校（琴浦町立浦安小学校・倉吉市立久米中学校）による取組発表を行いました。2校の研究主任からは、前年度にどのようにして校内研究を進めていったのか、実際を取組や校内の進捗の具体等を分かりやすく伝えていただきました。参加者にとっても研究推進上のコツやポイントが学べ、今後の意欲が高まる機会となりました。参加者同士の情報交換・協議でも、活発なやりとりがなされていました。



◆参加者振り返りより

◆どの学校も、いかに学校全体で巻き込んで研究を進めていくか、一部の教員だけの取組ではなく、一人ひとりが自分事として（自分の教科指導でならどうするか）捉えられるような仕組みと仕掛けをされていることが印象的でした。

◆他校の取組の良い部分を真似ながら自校の取組に取り入れられるものを積極的に取り入れていきたいです。実践する中で、自校にとってより良いものを見つけていきたいと感じました。若い先生が多いため、その先生方が働きやすい環境を整えることも大切だと感じました。

◆評価改善の対象は常に『自分』であるということ、校内でも周知したいと思います。特に研究授業前は、授業者も様々な不安を感じていると思います。しかし、『誰かに見られること』を意識するのではなく、『みんなで授業力を上げていく』という前向きな気持ちで授業に臨んでもらいたいと思います。そのためにも、授業者以外の意識を変えられるよう、研究主任として声をかけていきたいです。